



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月24日

上場会社名 未来工業株式会社 上場取引所 東 名
コード番号 7931 URL <https://www.mirai.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中島 靖
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長 (氏名) 吉澤 信幸 TEL 0584-68-1200
半期報告書提出予定日 2024年11月1日 配当支払開始予定日 2024年11月26日
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月21日～2024年9月20日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	22,363	3.1	3,468	6.6	3,544	6.6	2,398	6.4
2024年3月期中間期	21,689	13.3	3,253	78.6	3,323	77.2	2,252	81.5

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 2,423百万円 (△5.5%) 2024年3月期中間期 2,564百万円 (105.2%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	148.73	—
2024年3月期中間期	130.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	64,207	51,519	79.2
2024年3月期	63,534	50,792	78.9

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 50,827百万円 2024年3月期 50,132百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	50.00	—	100.00	150.00
2025年3月期	—	50.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	80.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年3月21日～2025年3月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,292	2.7	6,609	△9.9	6,749	△9.7	4,563	△10.8	283.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期中間期	25,607,086株	2024年3月期	25,607,086株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年3月期中間期	9,476,726株	2024年3月期	9,489,520株
-------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（中間期）

2025年3月期中間期	16,124,213株	2024年3月期中間期	17,213,420株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
3. 補足情報	11
2025年3月期 第2四半期(中間期) 決算短信資料	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国の経済は、インバウンド需要の拡大や雇用・所得環境に改善が見られる等、経済活動の正常化が緩やかに進みました。しかしながら、為替の変動や不安定な国際情勢を背景として原油価格が高水準で推移し、原材料価格はユーティリティコストの更なる増大による高止まりが継続する等、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの事業関連である建築業界では、新設住宅着工戸数が物価高騰による住宅取得マインドの低下等から持家及び戸建分譲住宅の減少が続く等弱含みで推移いたしました。また、非住宅建築物の着工状況につきましても前年同期に比べ棟数、床面積ともに減少傾向が続いており、厳しい状況で推移しております。

このような状況のもと、当社グループは継続的な新製品の市場投入に加え、活発な営業活動を展開してまいりました。当中間連結会計期間におきましては、電材及び管材に加え配線器具の価格改定が浸透したこと等により、売上高は22,363百万円と前年同期に比べ673百万円(3.1%)の増収となり、中間期の売上高としては過去最高額を更新いたしました。利益につきましては、原材料単価の上昇が収益を圧迫したものの増収効果により、営業利益は3,468百万円と前年同期に比べ214百万円(6.6%)の増益、経常利益は3,544百万円と前年同期に比べ220百万円(6.6%)の増益、親会社株主に帰属する中間純利益は2,398百万円と前年同期に比べ145百万円(6.4%)の増益となり、中間期の営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益としては過去最高額を更新いたしました。

セグメントの業績は次の通りであります。

(電材及び管材)

電材及び管材につきましては、建築工事現場において技能労働者の不足が叫ばれるなか、作業の省力化を目指した製品づくりとともに、さまざまな現場に適した多種多様な製品展開を進めることにより、業界の支持を得ております。

電材では、硬質ビニル電線管「J管」とその附属品等が堅調に推移したことに加え、施工性に優れた合成樹脂製可とう電線管「ミラフレキシS」や地中埋設管「ミラレックスF」とその附属品等が増加したことにより、電線管類及び附属品が増加した結果、売上高が17,357百万円と前年同期に比べ440百万円(2.6%)の増収となりました。営業利益は原材料単価の上昇が収益を圧迫したものの増収効果により3,329百万円と前年同期に比べ171百万円(5.4%)の増益となりました。

(配線器具)

配線器具につきましては、電材ルートへの活発な営業活動により、デザインを一新した「J・ワイドスリムスクエア」等の配線器具が堅調に推移した結果、売上高が3,514百万円と前年同期に比べ256百万円(7.9%)の増収となりました。営業利益は原材料単価の上昇に加え人件費の増加等があったものの価格改定等による効果により267百万円と前年同期に比べ173百万円(184.0%)の増益となりました。

(その他)

その他につきましては、「省力化機械及び樹脂成形用金型」が減少した結果、売上高が1,491百万円と前年同期に比べ22百万円(1.5%)の減収となりました。営業利益は電気通信の「ミライレンタルサーバ」や「ケーブルテレビ」の減価償却費の増加により281百万円と前年同期に比べ57百万円(17.0%)の減益となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて673百万円増加し、64,207百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が474百万円減少、受取手形、売掛金及び契約資産が332百万円減少、電子記録債権が367百万円増加、流動資産のその他が918百万円増加、有形固定資産が240百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて53百万円減少し、12,688百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が262百万円増加、未払法人税等が535百万円減少、流動負債のその他が113百万円増加、固定負債のその他が63百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて726百万円増加し、51,519百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が677百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ454百万円増加し、18,587百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3,398百万円と前年同期に比べ2,623百万円の増加となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益が3,544百万円と前年同期に比べ220百万円増加(資金増)、売上債権及び契約資産の増加額が35百万円と前年同期に比べ597百万円減少(資金増)、棚卸資産の増減額が前年同期は129百万円の増加であったものが、当中間期は131百万円の減少となり、その差額260百万円資金増、仕入債務の増減額が前年同期は1,978百万円の減少であったものが、当中間期は175百万円の増加となり、その差額2,153百万円資金増、法人税等の支払額が1,639百万円と前年同期に比べ855百万円増加(資金減)したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,387百万円と前年同期に比べ16百万円の減少となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が199百万円と前年同期に比べ86百万円減少(資金増)、有形固定資産の取得による支出が1,268百万円と前年同期に比べ11百万円増加(資金減)、投資活動によるキャッシュ・フローのその他が前年同期は10百万円の収入であったものが、当中間期は49百万円の支出となり、その差額60百万円資金減したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,556百万円と前年同期に比べ1,292百万円の増加となりました。これは主に、配当の支払額が1,721百万円と前年同期に比べ1,270百万円増加(資金減)したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中間連結会計期間及び通期の連結業績予想につきましては、本日(2024年10月24日)公表いたしました「2025年3月期中間期連結業績予想と実績値の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月20日)	当中間連結会計期間 (2024年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,929	19,454
受取手形、売掛金及び契約資産	7,835	7,503
電子記録債権	4,818	5,185
商品及び製品	4,636	4,446
原材料及び貯蔵品	1,668	1,726
その他	1,553	2,472
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	40,438	40,786
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,503	5,320
機械装置及び運搬具(純額)	2,719	3,025
土地	4,643	4,643
建設仮勘定	558	612
その他(純額)	764	828
有形固定資産合計	14,190	14,430
無形固定資産	131	162
投資その他の資産		
投資有価証券	1,636	1,690
繰延税金資産	1,067	1,070
退職給付に係る資産	1,683	1,686
長期預金	4,000	4,000
その他	486	481
貸倒引当金	△99	△99
投資その他の資産合計	8,774	8,828
固定資産合計	23,096	23,421
資産合計	63,534	64,207
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,712	2,975
電子記録債務	1,688	1,601
短期借入金	40	55
1年内返済予定の長期借入金	145	208
未払法人税等	1,762	1,226
その他	3,842	3,955
流動負債合計	10,190	10,021
固定負債		
長期借入金	80	91
再評価に係る繰延税金負債	60	60
株式付与引当金	1,184	1,198
役員株式付与引当金	22	39
役員退職慰労引当金	97	103
退職給付に係る負債	679	684
その他	425	488
固定負債合計	2,550	2,666
負債合計	12,741	12,688

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月20日)	当中間連結会計期間 (2024年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,067	7,067
資本剰余金	9,904	9,904
利益剰余金	52,439	53,116
自己株式	△19,853	△19,829
株主資本合計	49,557	50,258
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	552	581
土地再評価差額金	△600	△600
退職給付に係る調整累計額	622	586
その他の包括利益累計額合計	575	568
非支配株主持分	660	692
純資産合計	50,792	51,519
負債純資産合計	63,534	64,207

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
 (中間連結損益計算書)
 (中間連結会計期間)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)
売上高	21,689	22,363
売上原価	13,198	13,466
売上総利益	8,490	8,896
販売費及び一般管理費		
運賃	1,155	1,143
貸倒引当金繰入額	△0	0
役員報酬	128	139
給料及び手当	1,847	1,890
退職給付費用	60	54
株式付与引当金繰入額	—	13
役員株式付与引当金繰入額	—	16
役員退職慰労引当金繰入額	5	6
その他	2,040	2,163
販売費及び一般管理費合計	5,236	5,427
営業利益	3,253	3,468
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	29	36
保険事務手数料	2	2
作業くず売却益	8	11
受取手数料	12	14
その他	20	29
営業外収益合計	80	102
営業外費用		
支払利息	1	2
社債発行費	6	5
支払補償費	—	9
その他	3	9
営業外費用合計	11	27
経常利益	3,323	3,544
税金等調整前中間純利益	3,323	3,544
法人税、住民税及び事業税	1,003	1,124
法人税等調整額	23	△9
法人税等合計	1,027	1,114
中間純利益	2,296	2,430
非支配株主に帰属する中間純利益	43	31
親会社株主に帰属する中間純利益	2,252	2,398

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)
中間純利益	2,296	2,430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	292	29
退職給付に係る調整額	△25	△35
その他の包括利益合計	267	△6
中間包括利益	2,564	2,423
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,520	2,391
非支配株主に係る中間包括利益	43	31

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,323	3,544
減価償却費	928	998
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
株式付与引当金の増減額(△は減少)	△13	13
役員株式付与引当金の増減額(△は減少)	—	16
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4	6
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5	△1
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△37	△48
受取利息及び受取配当金	△36	△44
支払利息	1	2
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△632	△35
棚卸資産の増減額(△は増加)	△129	131
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,978	175
未払消費税等の増減額(△は減少)	74	△249
その他	23	417
小計	1,524	4,926
利息及び配当金の受取額	36	44
利息の支払額	△1	△2
法人税等の支払額	△783	△1,639
補助金の受取額	—	69
営業活動によるキャッシュ・フロー	775	3,398
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△285	△199
定期預金の払戻による収入	126	128
有形固定資産の取得による支出	△1,257	△1,268
有形固定資産の売却による収入	1	1
その他	10	△49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,404	△1,387
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	15
長期借入れによる収入	260	250
長期借入金の返済による支出	△197	△175
社債の発行による収入	193	194
社債の償還による支出	△73	△115
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△450	△1,721
その他	3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△264	△1,556
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△893	454
現金及び現金同等物の期首残高	21,584	18,133
現金及び現金同等物の中間期末残高	20,691	18,587

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,917	3,257	20,175	1,513	21,689
セグメント間の内部 売上高又は振替高	119	0	119	2,121	2,241
計	17,037	3,258	20,295	3,634	23,930
セグメント利益	3,158	94	3,252	339	3,591

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、省力化機械及び樹脂成形用金型事業、電気通信事業、ケーブルテレビ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,252
「その他」の区分の利益	339
セグメント間取引消去	19
全社費用 (注)	△327
棚卸資産の調整額	△0
有形固定資産の調整額	△29
無形固定資産の調整額	△0
中間連結損益計算書の営業利益	3,253

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,357	3,514	20,871	1,491	22,363
セグメント間の内部 売上高又は振替高	121	0	121	2,399	2,520
計	17,479	3,514	20,993	3,890	24,883
セグメント利益	3,329	267	3,596	281	3,877

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、省力化機械及び樹脂成形用金型事業、電気通信事業、ケーブルテレビ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,596
「その他」の区分の利益	281
セグメント間取引消去	22
全社費用(注)	△378
棚卸資産の調整額	2
有形固定資産の調整額	△54
無形固定資産の調整額	△0
中間連結損益計算書の営業利益	3,468

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 補足情報

2025年3月期 第2四半期(中間期) 決算短信資料

1. 業績と今期予想(連結)

科目	2023年3月期		2024年3月期		2024年3月期 中間期		2025年3月期 中間期		2025年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	百万円 39,568	% 7.2	百万円 44,091	% 11.4	百万円 21,689	% 13.3	百万円 22,363	% 3.1	百万円 45,292	% 2.7
営業利益	4,044	0.0	7,332	81.3	3,253	78.6	3,468	6.6	6,609	△9.9
経常利益	4,152	5.0	7,477	80.1	3,323	77.2	3,544	6.6	6,749	△9.7
親会社株主に帰属する当期(中間)純利益	2,742	8.3	5,116	86.6	2,252	81.5	2,398	6.4	4,563	△10.8
1株当たり当期(中間)純利益	159.40円		304.53円		130.89円		148.73円		283.00円	

4期連続の増収、営業利益及び経常利益並びに親会社株主に帰属する中間純利益は2期連続の増益であります。

2. セグメント別の実績と予想(連結)

売上高

セグメント	2023年3月期		2024年3月期		2024年3月期 中間期		2025年3月期 中間期		2025年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
電材及び管材	百万円 30,145	% 8.0	百万円 34,120	% 13.2	百万円 16,917	% 15.7	百万円 17,357	% 2.6	百万円 34,950	% 2.4
配線器具	6,451	4.9	6,827	5.8	3,257	4.7	3,514	7.9	7,185	5.2
その他	2,971	4.9	3,143	5.8	1,513	7.8	1,491	△1.5	3,156	0.4
売上高	39,568	7.2	44,091	11.4	21,689	13.3	22,363	3.1	45,292	2.7

営業利益

セグメント	2023年3月期		2024年3月期		2024年3月期 中間期		2025年3月期 中間期		2025年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
電材及び管材	百万円 3,613	% 6.5	百万円 6,838	% 89.3	百万円 3,158	% 90.3	百万円 3,329	% 5.4	百万円 6,218	% △9.1
配線器具	428	△10.8	473	10.3	94	△49.7	267	184.0	601	27.0
その他	566	△26.8	706	24.8	339	25.1	281	△17.0	490	△30.6
調整額	△564	△6.3	△685	21.5	△337	14.0	△409	21.2	△700	2.1
営業利益	4,044	0.0	7,332	81.3	3,253	78.6	3,468	6.6	6,609	△9.9

減価償却費

セグメント	2023年3月期		2024年3月期		2024年3月期 中間期		2025年3月期 中間期		2025年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
電材及び管材	百万円 1,709	% △14.1	百万円 1,771	% 3.7	百万円 782	% 0.2	百万円 777	% △0.7	百万円 1,994	% 12.6
配線器具	358	△2.4	278	△22.2	113	△23.3	118	4.6	371	33.2
その他	251	△5.5	273	9.1	105	△13.8	173	65.1	372	36.0
調整額	△159	△9.8	△174	9.3	△72	6.4	△71	△1.4	△170	△2.8
減価償却費	2,158	△11.7	2,149	△0.4	928	△5.5	998	7.5	2,569	19.5

設備投資額

期別 セグメント	2023年3月期		2024年3月期		2024年3月期 中間期		2025年3月期 中間期		2025年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
電材及び管材	1,293	△1.0	2,161	67.1	1,066	43.9	1,065	△0.1	1,714	△20.7
配線器具	224	△45.7	251	12.2	80	5.4	141	75.9	426	69.3
その他	262	11.7	761	189.6	333	306.1	136	△59.2	501	△34.1
調整額	△158	△4.4	△255	61.0	△128	28.3	△147	14.6	△160	△37.4
設備投資	1,621	△9.3	2,918	80.0	1,351	69.1	1,196	△11.5	2,482	△15.0

以 上